

【BCPの好事例紹介】

業種：スポーツ施設提供業

BCPで対象としたリスク：地震

株式会社スーパーライフ

代表取締役 山口正史 氏

URL <http://superlife2013.jimdo.com/>



■策定したBCPのポイント

当社のBCP基本方針は以下3つとしています。

- ・ 人命と健康を最優先（従業員・顧客の安全安心を守る）
- ・ 顧客との丁寧かつ的確なコミュニケーションによる情報共有
- ・ 事業の継続または早期再開により社会的な使命を果たしニーズに応える

お客様が通う運動施設スポーツジムにとって、重要な業務である「在館する会員の人命を最優先として、社員と社員の家族の安全と生活を守る」、「早期の再開により、サービスの継続的な供給を目指す」の2つについて、有事の際の対応フローを整備しています。

また、定期的な訓練を開催することを決定し、それに向けて対応マニュアルを新たに作成整備しています。

Q. 会社の概要を教えてください。

当社は、千葉県習志野市に店舗を構える、運動施設スポーツジムの営む創業11年目の企業です。

Q. 策定したBCPの概要を教えてください。

対象リスクはこれまでの経験とリスクや影響の大きさ等から震度6強の地震としました。重要業務は、事業内容を踏まえ、「在館する会員の人命を最優先として、社員と社員の家族の安全と生活を守る」、「早期の再開により、サービスの継続的な供給を目指す」の2つとしました。

策定講座および個別コンサルティングで、コンサルタントの方から受けたアドバイスや、提供されたひな形などを参考に作成しました。

そのほかにも、個別コンサルティングの中で事前に準備しておくべき物品について理解できたので、水などのストックを徐々に増やすなどできる準備を進めています。ロッカーの固定なども行いつつ、ゆくゆくはポータブル電源の準備もできたらと考えています。

Q. BCP策定過程で苦労したことは何ですか？

事前に事業継続力強化計画を策定していたのですが、被災時の具体的な手順のまとめが

大変かなと感じました。しかしながら、千葉県事業の支援メニューがあることを知ることができたため、あまり苦勞を感じる局面はありませんでした。千葉県事業の支援メニューで提供された BCP のワークシートやひな形は、BCP として取り決めるべき内容の全体像を理解するうえで大変役立ちました。

Q. 現状、計画に基づき具体的に行っていることは何ですか？

いざという時に重要業務に掲げた業務を行えるようにしておくために、避難訓練や従業員による BCP の読み合わせなどを行っています。避難訓練としては、9月1日の前後にお客様も参加いただく形で行おうと考えています。まだ、当社単体での訓練となりますが、将来的には当社の入居するテナントビルのオーナーなども交えた内容にできればと考えています。

そのほか、BCP の実効性を担保するための書類の整備にも取り組んでいます。

Q. 日常業務で BCP を策定した効果はありますか？

働く従業員も私自身も、今までともすると他人事だった防災や減災について、より身近に自分事として感じながら働くようになりました。そして、ご利用いただいているお客様にも、BCP や事業継続力強化計画への取り組み姿勢を積極的に広報していく中、安心感や安全性への好意的な反応を実感しています。今後も発災を想定した避難訓練や取り組みについては広報活動していく所存です。

Q. BCP を今後会社の企業経営にどう生かしたいですか？

形骸化や無機能化させることなく、実用的・実効的に運用していかねばならない、と思っています。

コロナ禍への対応は何の準備も前例も無い中、非常に難しく苦勞しました。地震、火災、救命などのリスクへの準備をしっかりとっておくことで、いざというときに適切かつ迅速な対応に BCP や事業継続力強化計画を活かしていきたいと思えます。

地震

防災減災 初動対応 手順マニュアル

	お客様	スタッフ
地震発生	<ul style="list-style-type: none">● トレーニングを中断● ジム広場に集合 	<ul style="list-style-type: none">● お客様の誘導● 非常扉の開放 
揺れの収束	営業継続の判断に従い トレーニング再開 または 営業中止の場合、帰宅	震源地や震災状況を把握 ↓ 営業継続の判断
その後	BCP事業継続力強化計画に従い対応	